

令和2年7月近江八幡市教育委員会定例会(要旨)

1. 開催日時 令和2年7月16日(木) 午前9時28分～10時20分

2. 開催場所 文化会館2階 会議室2

3. 出席委員

教育長	日岡 昇
教育長職務代理者	久家 昌代
委員	八耳 哲也
委員	安倍 映子
委員	西田 佳成

4. 事務局出席者

教育部長	西川 仁司
教育部次長兼教育総務課長	秋山 直人
学校教育課参事	宮川 拓也
生涯学習課長	東 繁
近江八幡図書館長兼安土図書館長	奥村 恭代
学校給食センター長	嶋川 明夫
スポーツ推進課長	太田 明文
総合政策部次長兼文化観光課長	濱本 浩
子ども健康部幼児課長補佐	北川 美由紀
教育総務課副主幹	澤 千央

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議案】

○議第44号 近江八幡市小中学校 ICT 教育・整備方針の改定について

○議第45号 近江八幡市重要文化的景観保存活用検討委員会設置要綱の制定について

【協議事項】

○桐原幼稚園閉園に伴う令和3年度の桐原学区在住幼児の幼稚園通園区域について

【報告事項】

○近江八幡市立図書館におけるリサイクル資料を活用した市民提案事業実施団体の選考結果について

○市内就学前施設の園所外保育にかかる“キッズつながり隊”(ボランティア)の募集について

○近江八幡市修理修景技術アドバイザーの委嘱について

○近江八幡市立文化財保存活用地域計画連絡協議会委員の変更および委嘱について

7. 議事の経過

(1) 開 会(日程確認)

- ・教育長が7月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認

(2) 前回の会議録の承認

6月定例会の会議録 承認

(3) 教育長挨拶および報告

今年は梅雨らしい梅雨で、例年よりやや長引いている。しかし残念なことに、九州、中国中部地方では豪雨による災害があり、多くの方が亡くなられた。その被災地でもコロナ禍を心配し、その対応もしながら各県が取り組まれたと聞いている。

本市も8月末に予定している防災訓練については、コミュニティセンターだけでなく小学校も含め、コロナへの対応をしながらの防災訓練となる。

どこに出掛けても誰もがマスクをしている。子どもたちもその中、毎日登校している。八幡小学校は、雨の日、晴れの日関係なく傘をさす「傘さし登校」を実施中。傘をさしている間はマスクをしなくてもよいという形をとっていただいている。

6月から学校が再開したが、当初小学校1年生の落ち着き具合が各校で心配された。3月の就学前教育の最後の仕上げの部分ができていることが大きいとは思いますが、1か月半が経過し、ようやく落ち着いてきた。課題としては学校行事がある。県は、やまのこ学習については希望によって実施し、うみのこ学習は宿泊を伴わない形で実施する。

各校の運動会・体育大会は、平日開催、午前中という学校もある。音楽会は、大きな声で歌えない等もあるが、横一列に並んで行う予定の学校もある。いずれも、最終学年の子どもたちの活躍の場として開催してあげたい。修学旅行も三密で制限される中、各校苦慮しながらも対応を考えていただいている。

7月臨時議会も7月30日(木)に予定されている。6月議会で採決されなかった案件について行われる。

1学期の通知表は、学校としては出す方向で進めている。今年は、学校によって1学期の終了も異なるため、通知表渡しも各校で異なる。

(4) 議事

◆議第44号 近江八幡市小中学校 ICT 教育・整備方針の改定について

【事務局説明…教育総務課】

資料に基づき説明

本市の小中学校における ICT 環境を計画的に整備し、効果的な活用により ICT 教育を推進するため、平成29年に作成しホームページに公表している方針を、現状に即したものに改定する。

〈変更箇所〉

1. 小中学校 ICT 教育・整備方針の策定について

(1) 方針の位置づけ

「この方針は、ホームページ等において公表するものとする。」の文言を追加。

(3) 対象期間

「平成33年度」の表記を「令和3年度」に変更。

3. 教育情報化の現状と背景

(1) 国の動向

④「教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画」

⑤GIGA スクール構想の実現

の項目を追加。

6. 本市における教育情報化目標

(4) 教育員の授業力向上

- 「ICT を活用した公務の情報化による、教育活動の質の改善と教員の働き方改革を推進する」を追記。

7. 整備方針

(5) 段階的整備

大きな段階的整備(第1段階～第5段階)を示しただけの表であったため、第2段階(教員用機器整備)、第3段階(児童生徒用機器整備)、第4段階(普及・共有)については、詳細な方針を追加した。

【質 疑】

○安倍委員

ICT 教育の整備により教育効果が高まり、不登校や入院中の子どもたちにとっても、遠隔授業などが可能となり授業の広がりが出てくるのではないかと思う。そういったことを

どこかに記載してもよいのではないか。

○教育総務課

P15 のオンラインによる学習支援の推進の項目に記載している。

○安倍委員

5年間計画ということだが、国と同じ5年の期間(同時進行)となっているのか。

○教育総務課

国は、平成30年～令和4年度の5か年、市は平成29年～令和3年度の5か年計画としているため、少し違う。

【採 決】

議第44号

近江八幡市小中学校 ICT 教育・整備方針の改定について

可決

◆議第45号 近江八幡市重要文化的景観保存活用検討委員会設置要綱の制定について

【事務局説明…文化観光課】

重要文化的景観地区内において各種事業を行うにあたり、市民や有識者の意見を聴く場がなく、これまでは主に行政主導で行ってきた。公共事業も含め重要文化的景観の保存活用を図り、市民、有識者からの意見を幅広く取り入れる場(委員会)を設置するため、この要綱を制定する。

【質 疑】

なし

【採 決】

議第45号

近江八幡市重要文化的景観保存活用検討委員会設置要綱の制定について 可決

●協議事項

◎「桐原幼稚園閉園に伴う令和3年度の桐原学区在住幼児の幼稚園通園区域について」

【事務局説明…幼児課】

令和2年度末で桐原幼稚園が閉園することに伴い、幼稚園の通園区域の変更を行いたい。

桐原学区に隣接する園は馬淵幼稚園・北里幼稚園・八幡幼稚園・金田幼稚園の4園。4園中、金田幼稚園については、小学校就学時にそのまま金田小学校を選択された

場合、金田小学校の児童が今以上に増加し、適正規模にはならないことが予想されるため、金田幼稚園を除く3園を通園可能と変更することについて審議していただきたい。

変更の部分についての広報の仕方については、9月の一斉募集の中でお知らせし、市ホームページでも周知する予定。

子どもたちの動向については、9月以降の募集の人数によって把握していきたい。

今後の就学前施設のあり方・見通しについては、総合教育会議等で協議していただき、その方向に沿った形での変更等を検討していく。

【質 疑】

○安倍委員

預かり保育実施園の表記はなくてもよいのか。

○幼児課

預かり保育のことについては、募集要項の中に示してある。

○教育長

昨年度は岡山幼稚園が閉園となり、今回と同様に岡山学区と近隣学区にある幼稚園（八幡幼稚園・北里幼稚園）への通園を可能としたが、その実態はどうなっているのか。

○幼児課

岡山幼稚園閉園に伴い、ほとんどの園児は地元の岡山紫雲こどもみらい園に通園している。八幡幼稚園と北里幼稚園に通園している子どもはいない。

○教育長

閉園に伴う幼稚園の通園区域の変更については、この案のとおり進めてください。

●報告事項

◎近江八幡市立図書館におけるリサイクル資料を活用した市民提案事業実施団体の選考結果について

【事務局報告…図書館】

資料に基づき報告。

1団体から提案があり、6月に選考を行った。選考会では、11名の委員のうち8名が出席し、「近江八幡市立図書館におけるリサイクル資料を活用した市民提案事業選考基準」に則り審査して頂き、選考の結果、この団体を採用・決定した。

事業名「ゆっくぶっく」、事業実施団体名「近江八幡読書グループ連絡会」

事業期間は、覚書締結から3年間。（令和5年まで）

図書4,000冊、雑誌1,500冊を譲渡予定。

企画内容については、コロナ禍のため、まずは月1回のリサイクルを実施。（コロナ禍の状況を見て実施日を増数）

事業最終年度には、講演会を実施予定。

地域の方の掘り起こしのため、郷土の冊子を作成するという内容であった。

各事業等活動については、フェイスブック等でも情報発信をされる予定。

収益関係では、団体独自でリサイクル事業を行っていた過去の実績としては2日間で約15,000円の収益があったため、初年度は、約3万円の収益を見積り、3年間で約10万円の収益を想定。

◎市内就学前施設の園所外保育にかかる“キッズつながり隊”（ボランティア）の募集について

【事務局報告…幼児課】

資料に基づき報告。

令和元年5月の大津市の保育園児の交通事故を受けて、昨年度は、就学前施設における全ての園所外保育について安全点検を行った。また、関係課とともに合同点検を実施し、一定の安全確保と対策を取った。

さらに有意義な園所外保育を実施するためには、乳幼児の園所外保育時における安全確保に向けた多くの見守りを必要とする。

そのため、地域の方のご協力をいただき、今回「キッズつながり隊」(ボランティア)としての募集を行う。

見守りだけでなく地域とのつながり、広がりといった願いを込めてつながり隊と命名した。

募集の申込方法については、民間施設もあるため、各コミュニティセンターを窓口とする。9月を目途に募集し、秋以降の活動を予定している。

希望としては、各コミュニティセンター20名×10か所、200名の募集を予定している。

【意見】

○八耳委員

窓口は、コミュニティセンターだけとなっているが、コミュニティセンター以外は受け付けられないのか。

○幼児課

地域のみなさんが行きやすいかと思い、申込書の設置先をコミュニティセンターにした。

○八耳委員

それならば、申込先は コミュニティセンターだけでなく、園所でも受け付けできるようにしてはどうか。

○幼児課

申し込みやすいように変更する。

また、用紙は9月の広報と一緒に全戸配布する。

○八耳委員

生年月日の欄が狭くて書きにくいように思う。

○幼児課

記入しやすいよう変更する。

○安倍委員

良いことだと思う。これをきっかけに、地域が地域の子どもを育てる、また、園がもっと地域や私立園とともに融合して進んでいけるのではないかと思うが、学区をまたいで活動したい場合、居住学区にある園限定となっているが、居住学区にある園と自分の孫(子)が通園している園が異なる家庭もある。孫(子)が通園している園で活動できるとよい。地元でも孫(子)の通園先の地域でもどちらでもよいとしてはどうか。

また、先ほど八耳委員も仰ったが、園で申し込みができると、園の意識づけにもなり、園が地域とつながろうとしている思いも地域の方々に伝わるのではないか。

○幼児課

基本はお住いの近くの園での活動と考えていたが、申込先も含め、園と地域がつながっていけるよう検討する。

○教育長

追加、修正等を検討した上で募集をお願いする。

◎近江八幡市修理修景技術アドバイザーの委嘱について

【事務局報告…文化観光課】

資料に基づき報告。

近江八幡市伝統的建造物群保存地区及びその周辺の伝統的建造物及び伝統的建造物群と一体をなす環境を保存するため、専門的な立場からの技術的な助言を得るため、近江八幡市修理修景技術アドバイザー4名を委嘱する。任期満了に伴う委嘱。任期は、委嘱日から令和4年3月31日まで。

◎近江八幡市立文化財保存活用地域計画連絡協議会委員の変更および委嘱について

【事務局報告…文化観光課】

資料に基づき報告。

近江八幡市立文化財保存活用地域計画連絡協議会委員4名の変更。

- ・近江八幡市まちづくり協議会連絡会の会長交代に伴う変更(1名)
- ・選出元団体が活動を休止されるため、退任。(1名)
- ・市職員の人事異動に伴う委員の変更。(2名)

1名の退任があったため、総委員数は、17名から16名となった

8. その他

7月29日(水)、8月6日(木)の内部評価ヒアリングの実施、8月は2回の定例会を予定している。

9. 閉会 教育長が7月定例会の閉会を宣言